

学校法人藤森学園
大宮理容美容専門学校

2022年度
第1回学校関係者評価委員会

報 告 書

2022年9月26日

大宮理容美容専門学校

2022年度 第1回 学校関係者評価委員会報告

学校関係者評価委員会

標記委員会を下記のとおり開催し、学校関係者評価を実施しましたので、報告いたします。

記

1. 開催日時 2022年9月17日（土）14時～15時30分
2. 場 所 大宮理容美容専門学校 会議室
 （埼玉県さいたま市大宮区桜木町四丁目92番地）
3. 出席委員（3名）
 松岡自然（理容分野の企業職員）
 株式会社銀座 課長
 吉野綾佑（美容分野の企業職員）
 美容室 k+PLUS スタイリスト
 吉田富子（卒業生）
 株式会社レイチェルガーデン 取締役
4. 出席教職員（2名）
 堀口秀暁（校長）
 藤森康至（事務長）
5. 会次第
 （1）開会
 校長から委員会開催の挨拶があった。
 （2）委員長選出
 委員の満場一致で、松岡自然が委員長に選任された。
 （3）議事（進行：委員長 松岡）
 ①2021年度事業報告について
 ②2021年度自己評価結果について
 ③学校運営に関する提案について

6. 議事内容

(1) 2021年度事業報告について

校長が2021年度事業報告書を使って、法人の概要及び事業の概要について説明をした。

その後、質疑応答が移り、次のような委員からの質問と、校長と事務長からの回答があった。

- ① 美容科の新入生が58名で、多かったが何か理由があるか。
→新型コロナウイルス感染症の影響で、地元志向が強まり、埼玉県内から都内の美容学校への進学者が減ったためと思われる。
- ② 理容師、美容師とも国家試験の合格率が高かったが、何か理由があるか。
→まじめな学生が多く、しっかり努力した結果だと考えている。
- ③ 新型コロナウイルス感染症対策についての対応はどのように評価しているか。
→学級閉鎖など早めに対策が出来たので、比較的うまく出来たと思う。

(2) 2021年度自己評価について

校長から自己評価の実施方法について以下の説明があった。

- ① 例年通り、全職員が全項目の評価を行うようにしたこと。
- ② 「2. 学校運営」と「3. 教育活動」を今回も重点評価項目としたこと。
- ③ 職員会議で、評価項目ごとに評価する意図と観点を説明し、意見交換を行ったこと。
- ④ 評価し難い項目については「評定不能」にし、評価数値計算からは除外するようにした。

それに対して次のような意見が出された。

- ① 自己評価の実施方法については、概ね良いと思う。
- ② 引き続き自己評価の意義と必要性を全職員に訴えてほしい。

つぎに自己評価結果について、校長が自己評価報告書をもとに説明し、事務長が補足説明を行った。

それに対して次のような意見が出された。

- ① 自己評価結果は概ね妥当で、学校の実態を反映した評価だと思われる。
- ② 自己評価についての職員の関心が高まり、より良い自己評価になっていると思われる。
- ③ 学校運営の項目の課題にあった「仕事の成果が反映されるような賃金規程の見直しをしてほしい。」は難しい課題だが、取り組む必要があると思われる。
- ④ 教育活動の項目の今後の改善方策にあった「学生による授業評価の実施」はぜひ、取り組むべきだと思う。

(3) 学校運営に関する提案について

自己評価報告をふまえて、各委員から学校運営に関して次のような提案があった。

- ① 学校の良さを高校生たちに伝える努力をさらに継続してほしい。
- ② 学校事務としては業務が増えて大変だと思うが、高等教育修学支援の対象校として認定されていることを活かして、幅広い学生を受け入れてほしい。
- ③ 校舎の老朽化に対しては、避けて通れない問題なので、そのための費用をプールできる予算組みが今後、必要になってくると思われる。

以 上